



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <https://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 田中 慎一 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	144,518	11.0	12,207	427.6	17,343	310.7	10,877	274.0
2022年3月期第2四半期	130,161	△10.8	2,313	△85.8	4,223	△77.6	2,908	△74.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 39,977百万円(208.3%) 2022年3月期第2四半期 12,965百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	132.68	132.52
2022年3月期第2四半期	35.95	35.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	929,766	802,319	83.8
2022年3月期	888,159	767,957	84.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 778,716百万円 2022年3月期 747,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,500	4.6	16,000	48.9	20,000	8.6	12,000	△8.6	146.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	85,139,653株	2022年3月期	85,139,653株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,157,297株	2022年3月期	3,154,725株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	81,983,646株	2022年3月期2Q	80,902,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の国内OTC医薬品市場は、新型コロナウイルス感染症対策に関する規制緩和が進み、緊急事態宣言や行動制限無しの夏季休暇や旅行支援策の推進等で人流の回復がみられたことにより、ドリンク剤や鎮痛剤が好調であったこと、新型コロナウイルス感染症流行第7波の影響を受け風邪薬や鎮咳去痰剤、検査薬等が好調であったことから、前年を上回る結果で推移しました。

海外OTC医薬品市場は、欧州では新型コロナウイルス感染症流行の影響による解熱鎮痛剤需要の増加や風邪薬市場の回復等があり、全体消費が拡大傾向にあります。東南アジア市場でも新型コロナウイルス感染症流行の影響による解熱鎮痛剤需要の増加や、一部の国で昨年度不振であった外用鎮痛消炎剤などのカテゴリーに回復傾向も見られ、全体としては前年同時期を上回って推移しました。

医薬事業につきましては、新薬創出の難易度が増す中で、医療費適正化政策の推進や薬価制度改革の影響等により、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、製品開発面で生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域を開拓していくとともに、生活者のニーズを満たす製品開発をより一層進め、新たな需要の創造に努めております。また、販売面では生活者から支持される強いブランドを目指して、生活者との接点の拡大、共感を得る販促活動を実践するとともに、「大正製薬ダイレクト」、「TAISHO BEAUTY ONLINE」など、通信販売チャネルの拡大にも注力しております。

海外では、2009年度のアジアOTC医薬品事業への本格的な参入以来、インドネシア、フィリピン、タイ、マレーシアなど、東南アジアを中心としたOTC医薬品事業の強化に取り組んでまいりました。ベトナムにおいては、ハウザン製薬を2019年5月に連結子会社化し、同社の事業基盤を活かしたベトナムにおける医薬品事業展開の強化に取り組んでおります。また、2019年7月にはフランスのUPSA社を完全子会社化し、東南アジア市場に欧州市場を加えた2極体制により海外事業の拡大を図り、持続的な成長の実現を目指しております。

医薬事業部門では、重点領域に注力しながら、きめ細かい情報提供活動による新製品の早期立ち上げやライフサイクルマネジメントなどにも取り組み、売上最大化を図っております。また、後期開発品・製品の導入や自社創成品の導出等のライセンス活動の取り組みを進めています。加えて、研究開発面では外部研究機関との連携強化や先端技術の活用等にも取り組むことで、研究開発機能の強化によるパイプライン拡充に努めております。

当第2四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、1,445億1千8百万円（前年同四半期比+143億5千7百万円、11.0%増—以下増減の比較については「前年同四半期比」の説明とする）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,258億円	(+ 152億円	13.7%増)
内訳			
国内	628億円	(△ 1億円	0.1%減)
海外	616 "	(+ 148 "	31.7%増)
その他	14 "	(+ 4 "	40.0%増)
医薬事業	187億円	(△ 8億円	4.2%減)
内訳			
医療用医薬品	182億円	(△ 0億円	0.1%減)
その他	6 "	(△ 8 "	58.5%減)

主要製品・地域の売上状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,258億円（+152億円、13.7%増）となりました。

主力ブランドでは、「リポビタンシリーズ」は、280億円（6.7%増）となりました。「パブロンシリーズ」は、93億円（0.9%減）となりました。「リアップシリーズ」は、56億円（20.0%減）となりました。「ビオフェルミンシリーズ」は、55億円（3.3%増）となりました。

海外では、アジア地域で306億円（27.6%増）、欧米地域で308億円（36.8%増）となりました。

<医薬事業>

当第2四半期連結累計期間の売上高は、187億円（△8億円、4.2%減）となりました。

主要製品では、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」66億円（6.6%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」38億円（4.7%増）、整腸剤「ビオフェルミン」は23億円（3.2%増）、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は22億円（13.5%増）となりました。

利益面につきましては、増収による売上総利益の増益及び効率的な広告宣伝費や販売促進費の使用等により、営業利益は122億7百万円（427.6%増）、経常利益は173億4千3百万円（310.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は108億7千7百万円（274.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ416億円増加し、9,298億円となりました。現金及び預金が20億円、受取手形及び売掛金が26億円、原材料及び貯蔵品が23億円、有形固定資産が140億円、無形固定資産が145億円それぞれ増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ72億円増加し、1,274億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ344億円増加し、8,023億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益109億円及び剰余金の配当41億円により利益剰余金が68億円、為替換算調整勘定が240億円、非支配株主持分が30億円それぞれ増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日公表時から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	265,049	267,036
受取手形及び売掛金	53,676	56,254
有価証券	7,219	7,405
商品及び製品	25,456	27,634
仕掛品	3,369	3,322
原材料及び貯蔵品	16,066	18,413
その他	8,438	12,381
貸倒引当金	△411	△477
流動資産合計	378,864	391,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,455	56,632
機械装置及び運搬具（純額）	15,291	17,653
土地	37,394	37,208
建設仮勘定	13,434	18,090
その他（純額）	3,716	3,744
有形固定資産合計	119,291	133,329
無形固定資産		
のれん	125,769	134,249
販売権	366	323
商標権	68,060	73,551
ソフトウェア	10,812	10,183
その他	8,050	9,264
無形固定資産合計	213,059	227,573
投資その他の資産		
投資有価証券	141,067	141,534
関係会社株式	12,557	12,589
長期前払費用	1,823	1,618
退職給付に係る資産	11,240	11,514
繰延税金資産	9,508	8,856
その他	976	1,008
貸倒引当金	△230	△229
投資その他の資産合計	176,943	176,892
固定資産合計	509,294	537,794
資産合計	888,159	929,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,101	14,876
未払金	15,521	16,587
未払法人税等	3,579	3,470
未払費用	11,736	11,836
返金負債	8,796	9,179
賞与引当金	3,633	5,238
その他	3,909	6,384
流動負債合計	62,277	67,573
固定負債		
役員退職慰労引当金	969	975
退職給付に係る負債	21,329	21,699
繰延税金負債	29,162	30,929
その他	6,462	6,268
固定負債合計	57,924	59,872
負債合計	120,202	127,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	702,984	709,758
自己株式	△21,033	△21,046
株主資本合計	711,950	718,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,586	26,067
為替換算調整勘定	8,488	32,517
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,419
その他の包括利益累計額合計	35,447	60,003
新株予約権	753	821
非支配株主持分	19,806	22,781
純資産合計	767,957	802,319
負債純資産合計	888,159	929,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	130,161	144,518
売上原価	51,637	58,185
売上総利益	78,523	86,333
販売費及び一般管理費	76,210	74,126
営業利益	2,313	12,207
営業外収益		
受取利息	680	713
受取配当金	1,042	1,107
持分法による投資利益	144	172
為替差益	346	3,131
その他	177	217
営業外収益合計	2,391	5,341
営業外費用		
支払利息	55	92
支払手数料	55	45
子会社株式取得関連費用	325	—
その他	44	66
営業外費用合計	481	204
経常利益	4,223	17,343
特別利益		
固定資産売却益	0	83
投資有価証券売却益	2,086	—
新株予約権戻入益	38	—
特別利益合計	2,125	83
特別損失		
固定資産処分損	79	122
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	29
特別損失合計	79	152
税金等調整前四半期純利益	6,269	17,274
法人税等	2,320	5,284
四半期純利益	3,948	11,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,040	1,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,908	10,877

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,948	11,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,620	501
為替換算調整勘定	10,487	27,458
退職給付に係る調整額	△62	34
持分法適用会社に対する持分相当額	212	△8
その他の包括利益合計	9,017	27,986
四半期包括利益	12,965	39,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,808	35,433
非支配株主に係る四半期包括利益	2,157	4,543

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,269	17,274
減価償却費	7,347	7,669
のれん償却額	3,836	4,018
新株予約権戻入益	△38	—
固定資産売却損益(△は益)	41	△83
固定資産処分損益(△は益)	36	122
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,086	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	29
受取利息及び受取配当金	△1,722	△1,820
支払利息	55	92
為替差損益(△は益)	△288	△2,437
持分法による投資損益(△は益)	△144	△172
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	254
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△283	△274
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	52	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,709	1,530
売上債権の増減額(△は増加)	2,178	△643
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,124	△2,003
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,025	△1,109
未払費用の増減額(△は減少)	△1,322	△1,088
その他	△331	△2,767
小計	17,453	18,597
利息及び配当金の受取額	1,844	2,089
利息の支払額	△56	△100
法人税等の支払額	△5,486	△6,556
法人税等の還付額	183	453
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,938	14,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,374	15,485
有形固定資産の取得による支出	△3,061	△15,481
有形固定資産の売却による収入	26	604
無形固定資産の取得による支出	△2,651	△616
投資有価証券の取得による支出	△1,052	△220
長期前払費用の取得による支出	△181	△68
その他	△13	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,307	△307

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,958	3,875
短期借入金の返済による支出	△1,191	△1,608
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△577	△179
自己株式の取得による支出	△25	△17
配当金の支払額	△3,643	△3,760
非支配株主への配当金の支払額	△2,343	△1,571
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,823	△3,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	544	2,280
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,352	13,195
現金及び現金同等物の期首残高	215,346	227,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	216,698	240,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	110,598	19,562	130,161	—	130,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	110,598	19,562	130,161	—	130,161
セグメント利益又は損失(△) (注2)	3,994	△721	3,273	△959	2,313

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	125,785	18,733	144,518	—	144,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	125,785	18,733	144,518	—	144,518
セグメント利益又は損失(△) (注2)	14,535	△1,389	13,146	△939	12,207

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。